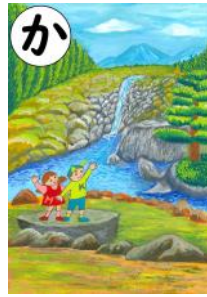


### あ 阿弥陀三尊像 (阿弥陀如来像：新潟県指定文化財)

阿弥陀三尊像は、江戸時代まで妙高山頂の阿弥陀堂に祀られており、妙高山は阿弥陀如来が治める「極楽西方浄土」として信仰されていた。この三尊は善光寺の本尊を模した「善光寺式三尊像」であり、現在は妙高堂に安置され、毎年7月1日の山開きに燕温泉で御開帳される。

あ 阿弥陀三尊のおられる妙高堂



### か 宝蔵院要石 (沓脱石)

要石は、心字池の手前中央に置かれ、5mの滝落としと亀島、その上に妙高山の借景が眺望できる。代々の院主はこの神々しい景色に平穏を祈ったのであろう。また、要石の上から見える冬至日没の赤倉山と夏至日没の不動山の間が、宝蔵院の広大な領地であった。

か 要石から院主が眺めた妙高山



### い 北沢の一里塚 (妙高市指定文化財)

一里塚は江戸時代に一里(4km)の目安として全国の街道に設置された。北国街道沿いの北沢では、一里塚の小高い丘の上に巨大なケンボナシの樹が茂っていた。残念なことに令和元年(2019)の5月、樹の中が腐り、倒木のおそれがあるため切り倒された。

い 一里塚 旅人たちの道しるべ



### き 経塚跡地

大正5年(1916)に戦没者の忠魂碑を建設しようと地面を掘ったところ、経典を入れた銅製経筒1点と珠洲焼壺3点、蓋2点が、発見された。この経塚は平安時代末期のものと考えられ、末法思想のもと地下に埋められた。まさにタイムカプセルといえる。現在、東京国立博物館が所蔵している。

き 経塚の大壺はタイムカプセル



### う 花房のブナ林

標高700m以上の山に育つといわれるブナの木が寺尾集落の裏山に茂っている。赤坂城の堀割跡や、御前清水など楽しいウォーキングコースが整備されており、毎年国際自然環境アウトドア専門学校生が全国から大勢の参加を集め、ノルディックウォーキング大会を実施している。

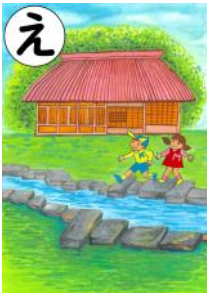
う ウォーキング木もれ陽いっぱいブナ林



### く 関山宝蔵院墓所

宝蔵院庭園の背後に歴代院主の墓所が広がっている。第二世院主大僧都俊海(上杉謙信公の甥と伝わる)を中心に15名の院主とその弟子10名の石塔が建っている。妙高山雲上寺宝蔵院は上野(東京)に本拠を構える東叡山寛永寺の末寺で、院主は代々本山から遣わされていた。

く 雲行くや院主の墓地の草紅葉



### え 旧庄屋太田家

築三百数十年という太田家は、妙高市に現存する最古の民家である。江戸時代には代々庄屋を務めた。庭園前に積み上げられたすばらしい石垣。庭を流れる坂口新田用水のせせらぎとその周りの苔の美しい景色が心をなごませてくれる。

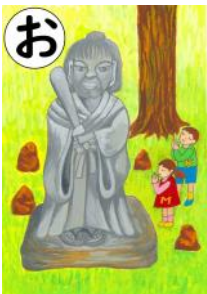
え 江戸時代の庄屋太田家苔みごと



### け 座禅石

修行僧が悟りを開くために座禅をしたといわれる石。弘治2年(1556)長尾景虎(のちの上杉謙信公)が出家を決意し、高野山へ向かう途中関山権現に参詣しこの座禅石で心を静めたという。追いついた家臣たちに諭され、隠遁せずすんだと伝えられている。

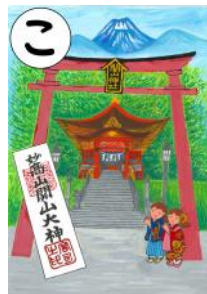
け 謙信公の心を静めた座禅石



### お 修那羅(しよなら)さん

大鹿に「安宮神社祭神誕生の地」と称する里宮がある。修那羅さんは江戸時代の寛政7年(1795)に大鹿で生まれ、9才頃に家を出て全国各地を修行し、靈験を得て安宮神社の祭神となった。この像は長野県坂井村の本宮「安宮神社」に奉納された修那羅像である。

お 大鹿出身の神様になったしよならさん



### こ 霊峰妙高山

妙高山(標高2,454m)は須弥山(しゆみせん)の別名であり、古代インドの世界観では世界の中央にそびえる秀麗な高山であるといわれている。平安時代頃には、その里宮(関山神社の前身)が建立され、以来村人は守り神として大切に信仰してきている。〔神と仏が同居するパワースポット関山といわれる所以〕

こ この地域妙高山が守り神